

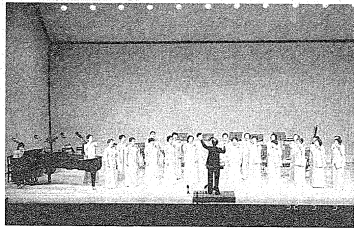
駒場松桜會會報

第51号
1992年9月1日発行
財団法人駒場松桜会
〒153 東京都目黒区
大塚2-18-1
都立駒場高校仰光寮
電話 03-3466-7579
電報掛号
東京 9-28486

九十年の歴史を

華やかに祝して

新校舎の建築が着々と進み、骨組みも壁におおわれて見える駒場の丘の西側にあたる駒場エミオースにて母校創設90周年を勇気記念の催しが、5月9日(日)に行われました。記念音楽会、92年度総会、祝賀会と続くプログラムに、90年の流れを凝縮しようとする苦心も浮かべ、長い歴史を区切りつつ、母校を考へ、再認識しながら、装いも新たに生まれ変わろうとする駒場が更に100周年へと向かって、力強い第一歩を踏み出すスタートを飾るのにふさわしく、盛大なものとなったように思われます。



— 木曜会 —

降りみ降らずみの天候に、お出ましの皆様方の御足元も心配しながら、受付が開始され、次々と見える方々はロビーでのご歓談とにぎわいを見せておりました。2時より第一部の合唱が始まり、同窓生有志が指揮者坪野春枝氏(駒2)の呼びかけにより発足した木曜会の美しいハーモニイが、華やかな催しの幕明けとなりました。指揮者の作品集からと外国の曲をいくつかの小品がコーラスの楽しさを明るく表現し、伴奏者須田さゆり

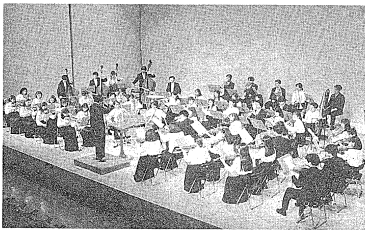
記念音楽会



氏(駒23)も渾然一体となった見事さは、20年以上の歴史を重ねた伝統の重みと共に、日頃の研鑽によるものと思えます。プログラムが進んでミサ曲の厳かな響きを引き締めた中に、祝福に満ちた雰囲気を感じ出しているようでした。

— 駒場奏鳴会 —

第二部は管弦楽で、駒場パロツクアンサンブルと駒場フィルハーモニーオーケストラのOB会でした。昨年10月に創立15周年記念コンサートの行われ、いろいろな試



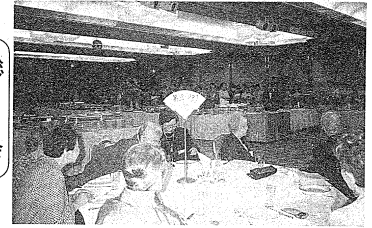
みに挑戦しつつ多彩な活動が楽しみで。現役の駒フィルもコンクール出場と大活躍ですが、その母体ともいべき奏鳴会の演奏は、全力投球のすばらしいものでした。はじめにブランドンブルグ協奏曲第4番を、小編成のサロン風な軽やかな演奏が、明るく楽しい喜びの心持ちを醸し上げ、心のこもったきめ細かさがフレッシュな盛り上がりにつなげたように思われます。締めくくりは「運命」でしたので、力一杯にエネルギーを感じさせるダイナミックな響きと、それを引き出した指揮者の若き溢れる躍動感に満ちて、オーケストラの魅力のすばらしさを堪能させてくれました。第三から駒場への歴史、学校の歴史と共に各人の歴史の重さが走馬燈のように駆けめぐり、時代の重みを超えてこれたという思いに誘われるひととき

音楽会アンケートより

でもありました。過去そして未来への感慨をあわせて映し出す音楽会ともなつたように思われます。

当日の慌しい中でしたが、80枚のアンケートの御回答をいただきました。ご協力で厚く御礼を申し上げます。それらをまとめて御紹介いたします。

- 若々しくてすばらしい演奏を楽しく拝聴しました。
- 卒業生の会が続いている事がばらばらしく、木曜会の中の同期の方が指揮者を見つめるまなざしが昔のままなのに、感動しました。
- 「運命」をきけたことが、とてもよかったです。
- 毎年聞かせて下さればうれしい受験勉強などの中を、がんばってこれたご苦労の程を思います。○すてきなハーモニイ、曲目もとても楽しかったです。
- 演奏を聞きながら、在学当時のことがあれこれ思い出されます。○昔、「美しき青きドナウ」を女声三部でNHKに入賞し全国放送を喜んだ時代でした。(35西の方)
- 卒業生の演奏を聞く機会となつてとてもよかったです。
- 古い同窓生として、大変誇りに思います。
- アンケートの曲を聞いては、さつたと思えます。(在校生)
- その他、リクエストの曲名なども寄せられ、お楽しみいただけました。よう、また期待のお言葉も多く、今後の企画に活かして参りたいと思っております。



総会

ダイアモンドホールに移り、受付周りはかなりの混雑で、五時より総会が始まりました。上田理事長の御挨拶に続き校歌斉唱と進みます。

記念祝賀会

続いて祝賀会となり、出席者数は昭和名、現・旧の先生方51名、PTA11名、第三89名、駒場283名というお顔ぶれは、90年を彩る広やかな流れを感じさせました。



テニス部OB会

発起人の祝光一郎氏(駒5)から現在までテニスやゴルフなどつながりのある駒10まで区切った昔のメンバーを思い出しつつ約60名の方々に声をかけました。



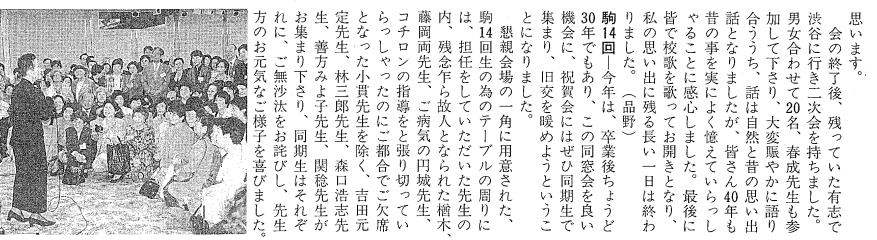
「平成4年5月9日駒場高校創立90周年を祝う松桜会の集い」49号会報にその祝賀会の時に、同期会、クラス会等もとうぞうとお話がありました。これだ、五年振りの同期会は此の機会が相応しい。

この祝賀会にあわせて同期会が三、部が一つお集りが持たれましたので、それぞれにまとめて御紹介いたします。

同期会

「平成4年5月9日駒場高校創立90周年を祝う松桜会の集い」49号会報にその祝賀会の時に、同期会、クラス会等もとうぞうとお話がありました。これだ、五年振りの同期会は此の機会が相応しい。

ええ。叱りもせず睨まされて下さった学生時代の先生に感謝します。というお話も聞かれました。お食事もバイキング方式で、勝手なお話をしながら、充分に楽しませてもらいました。



思いがけず、残っていた有志で渡谷に引き二次会を待ちました。男女合わせて20名、春彦先生も参加して下さり、大変賑やかに語り合っていました。

コチロン史 最終回 房枝 人智の発達も大切であるが、身体が退化してしまいうが、生命が脅かされること、こんな不幸なことはない。文明が発達すればするほど、精密な運動神経と機能的な発達が必要で、体力が大切である。

コチロンを踊る会は、月一回体育館で行われています。お忘れの方でもご相談下さい。お忘れの方でもご相談下さい。お忘れの方でもご相談下さい。

支部のコーナー

一草創のころをふりかえる その2

平成3年春、70年の歴史を有し、大正4年頃、11中西村様、6西浜地様、7中杉原様と母校ご縁なきかしく交流の中に始

この支部を開設された方は、多分22中の西園様ではないかと、皆様のご逝去されております。既に46年のご逝去されております。最初の頃は、高松主任の西園様宅にて

新校舎の工事が急ピッチで進み中、9月19日(土)に学園祭が開催されます。PTAとご二緒の開催でもあり、100年の流れをふりかえる展示を予定しておりますので、どうぞお出かけ下さい。

おおくになりました。河内様はつい三ヶ月前のご逝去で、ご存命な種々お聞き出されたのに、誠に残念な感じがします。河内様は、会費一同気分一新で行かなくては、意気込んで居ります。43西 福井幸子

約40名の中から森山真弓氏(41歳)を発起人として私が事務を担当し、毎年1回の会を持つことになりました。顔触れは色々と変わり、御次第でも返信に記して下さるお便りがは多く、積極的にいらして下さる方も増えています。支部の会をしまして、森山氏の官房長官(海部内閣)時代の話や、学生生活の思い出に思いを巡らしました。 駒1812 飯村慎一



社会科(歴史) 諺井光子先生の巻

現在、広島市にお住まいで、財団法人広島アジア文化会館の顧問をつとめておられる、諺井先生が東京のお嬢様のもとへいらしていらしたと、お話をうかがう機会をとお作りいただきました。今秋、駒場松桜会主催でピアノリサイタルをなさる長岡純子(42)西氏が、恩師として深く尊敬なさった諺井先生と、間接的には聞き知っていましたが、ご授業ぶりもさぞやと、もうご懐念の先生でした。当時女子をうけいれる大学は数少なく、東北大学の数学に進まれたお母様が、

お母様の父のことが深く、好きな道へと歩まれたすばらしさが、すべての原動力であり、母を見て己れの進む道も決まったこと、親の生活態度が大事で、子供に大きな影響を及ぼす力を、こめてお話し下さいました。自立した目覚めた女性の系譜として貴重なお話であると共に、当時の第三の先生方の雰囲気もうかがえて、この親にしてこの子、この師にしてこの教え子、という言葉そのままに、出会う機会を求めて把むという積極性、第三の中に脈々と継承されてきた先方の薫陶の偉大さを、当時の生徒の何分の一かではありませぬ、教えてくださいな。10月11日の長岡氏のサイタルには、又お出ましをとお願ひいたしました。はなかつたことでございませぬ。私もかつて一度だけお邪魔させて頂きましたが、西園様お手造りのオートホームの姿であったことを覚えておりますが、悲しいことにその辺りのことをよくご存知の著の34西佐藤様が52年4月に、29東の田坂様が63年11月に、28南の河内様が平成3年8月に相次いで

バルセロナで銀メダル 駒36-保 田辺陽子氏



バルセロナで銀メダル 駒36-保 田辺陽子氏

合宿に参加し、東女体大から日大へ転じて研究熱心、旺盛な向上心で世界の第一人者となつた。ソウルオリンピックでは公開種目であったが、今回のバルセロナから正式種目となり、金メダルの候補としてよく知られている。韓国、ヨーロッパ、中国と強敵が多いと言われたが、数多くの場をこなした買録に溢れ、打てば響くという感じの鋭さと共に、機嫌のよい言動、人への出会い、自分自身が鍛えられられたこと、恩師として平島、林、佐藤の諸先生方の思い出を語りつた。友人達の中には高松生も、また陽気な明るさで、そして又公人としての礼儀正しさに、駒場の育んだ国際人にふさわしく、日本の武道の精神を現代に活かしていられることを感じました。

恩師を訪ねる

第三回

急に明るく厳密となられた印象は、幼なかつた先生に強なものと、所なから、是非私という経路をたどられたそう、進まれた英文科から九大法文部へ進まれた。西洋史を専攻されてひたすら乱読の毎日でした。広瀬校長先生の印象に残り、ピアノに向かうという別、長岡氏のクラスで、明るくインテリジェントの個性の存在として、第二にいらして、初めの担任が、長岡氏のクラスで、明るくインテリジェントの個性の存在として、第二にいらして、初めの担任が、長岡氏のクラスで、明るくインテリジェントの個性の存在として、第二にいらして、初めの担任が、

母様への思い、PTAとご二緒の開催でもあり、100年の流れをふりかえる展示を予定しておりますので、どうぞお出かけ下さい。

お知らせ 母校90周年記念音楽会、総会、祝賀会の際のお忘れ物 5月9日(土)の催しの後、駒場エミナースより仰光寮へ荷物を移動し、整理いたしました所、ダイヤモンドの立爪の指輪とプラチナの太目の結婚指輪がペアで紛れ込んでおりました。どちらも刻印等がかすかになっており、貴重な、そして大切な記念のお品と思われます。お心当りの方、紛失のことをご存じ寄りの方は、至急事務局(月曜のみ)までお問い合わせ下さい。

【進路】

最近5年の大学合格状況のうち()内は保健体育科

Table with columns for university names and numbers of graduates. Includes entries for Keio University, Keio University of Advanced Studies, etc.

Table with columns for university names and numbers of graduates. Includes entries for Keio University, Keio University of Advanced Studies, etc.

収支報告

Table showing income and expenditure reports for the association. Columns include 91年度予算, 91年度決算, 増・減, and 92年度予算.

Table showing income and expenditure reports for the association. Columns include 91年度予算, 91年度決算, 増・減, and 92年度予算.

諸証書類と帳簿照合の結果、収支とも正確に執行されていることを証明します。 1992年6月29日 監事 土田敏裕 @ 宮崎玲子 @

第三高女から駒場高校へー俺たち駒場の男子 その(5) 卒業して三十有余年 熟年を迎えた男たち

第五回を迎えました今回は駒九の方々にご出席いただき、在学中から今日に至るまでのそれぞれの人生についてお話しいただきました。駒九は同期会を数年毎に持ち、毎回百人前後の方々が集まり盛大な会を開催して来られました。今回は同期会のため役々代表世話人である芝茂園建設株式会社常務川嶋利博氏を始め、小説新潮新人賞を受賞した作家の植田草介氏(本名植田靖郎)、海上自衛隊東京音楽隊長二等海佐谷村政次郎氏の三氏にお集まりいただきました。司会は桑太郎(駒六)、アシスタントは高橋陽子(駒七)。

<司会>まず、駒場の印象をお聞かせください。
<植田>僕は女性が多いという印象ですね。中学が駒場の裏の黒目一中なんです。あそこから見ると女生徒が多いのですが、皆仲良くやっていますので、いい学校だと思っていました。
<川嶋>手をつないで歩いているのを見てうらやましかったです。
<谷村>僕は女性が多い事を知らなかった。女性が多くなったのだらうと言われるが、入って初めて認識されたかと思う。
<司会>悪って、どんな面ですか。
<川嶋>色々な面。柔道は強く



植田 草介(本名靖郎) (駒九一五) 現役時代柔道部 明治大学法政学部卒業 丸紅株式会社入社 小説新潮新人賞受賞 作家

なかつたけれど、悪い方は悪かったです。
<植田>僕らの時は一年の時に柔道が創道が必要だった。その関係で皆柔道が創道をした。全校のムードが女性色が強かったのだ、逆に男の方がパンカラになっていくというムードがありました。
<川嶋>女子が優秀だということ、成績も良い事は認めていました。
<谷村>授業で最初、創道が復活したのは我が校で最初ですね。それに寒稽古もありました。
<司会>授業ですか。
<谷村>そうですね。朝早く学校行つて稽古をしました。一年生だけが必修でした。稽古の後、女子に



川嶋 利博(駒九一六) 現役時代柔道部 日本大学商学部卒業 芝茂園建設株式会社 現在同社常務取締役

格好の良い所を見せようとか種出着のままかもしれませんが、効果は先先生に叱られました。
<川嶋>個人的にはどうだったか知りませんが、柔道は汚いし、もてませんでした。でも、家庭科の調理室の前だったので家庭科の授業で調理したものをよま食べさせてもらいました。
<谷村>僕は駒場でサッカー部と管弦楽部の両方に入りました。グラウンドの所に芸術科の教室があったので、ラッパの練習をやったり、抜け出してボールを蹴ったりしていました。管弦楽は全く素人で芸術科の人達ばかりの中に入ったので大変でした。なにしろ初めて楽器を持ったのですから。本当はトロンボーンをやりたいが、楽器がなかった。たまたまホルンがいたので吹く様になりました。
<川嶋>僕は二年の終わりの頃からおかしくというが、不真面目になり、先生にマークされました。でもなんとか卒業するなんて立派なものです。僕もあまり勉強しなかつた。結果、明治の法ななというので入りました。(笑)
<川嶋>駒場の先生はとも良かつた。僕は数学が苦手な試験の時白紙で出しました。それで先生に呼ばれて、家に帰ってやつてこいと言われた。女子に頼んでやめて出してくれました。それでパスさせてくれました。
<谷村>三年の我々のクラスは理

科系でなかつたし、数学も選択だったのでではないでしょうか。
<川嶋>私は四谷二に越境して入学し、新宿高校から来た。
<谷村>我々の時は男子○○名の募集に○○七名が受験しました。合同選抜だったので第二希望の者が戸山、新宿から回ってきた。この人達は優秀でした。初めて英語の試験があったのも我々の時からです。
<植田>よく覚えてますね。
<谷村>後藤先生が説明してくれて覚えていたのです。
<植田>中学の先生は新宿高校へ勧めましたが、父親から新宿は良くないから駄目だと言われたので駒場に行く事になりました。
<川嶋>君は新宿に行く実力があつたのだ。僕は広尾に駒場に行けと言われ、駒場になりましたが、女性の多いのは嬉しかったけどもコンプレックスは感じていたと思います。
<植田>今、駒場の印象というと柔道部に通つたと言えます。
<川嶋>駒場の女子高の伝統を守りたいというのが、板垣みになったのが我々の時代だと思います。
<植田>女子の伝統に対する反発も強かつたと思います。
<谷村>男の先生は同高女の寮

それなら私は海上に入り、世界中を回ろうと思ったのです。先生に紹介してもらって試験を受けた。十月には入隊が決まりましたが卒業出来ないで、入隊を二月に延ばしてもらい、まだ在学中に舞鶴に入隊しました。入隊したらセーラー服を着せられ、駒場の女子の制服がセーラー服なので早速写真を撮らせて学校に送りました。
<谷村>あの時は体育館が出来るまで三月三十一日でした。隊で掛け合ったが結局出してもらえませんでした。あとで写真を送ってもらいました。
<植田>あの年だけ三月三十一日に卒業式をしました。
<谷村>入隊した翌年の三十三年に防衛大学の一期生と遠洋航海でアメリカとカナダに行きました。当時はお金があつても外国になかなかいけない時代で、それに自衛隊に入る事すら馬鹿にされた時代だったので、外国に行けた事はとても嬉しかったです。通算八回行つてます。今迄、駒場の卒業生と言つて一目おかれる事が多く、頭張らなければいけません。幹部になるため幹部候補生学校を受けました。合格したら高等数学で球面三角形という星と水準線を見て現在地を見つけるのをやらせられました。何となく出来ました。音楽隊でも駒場で片手間にやった曲をばたんばん吹かされるわけですから、最初は何かと苦しかったです。音楽は何もとと同じで学校を出た後には全く無関係です。



谷村政次郎(駒九一三) 現役時代サッカー部・管弦楽部 海上自衛隊音楽隊に入隊 現在海上自衛隊東京音楽隊長 二等海佐

自分て車を運転出来るよう、一ヶ月以内に運転免許も取らねば出来ません。三月月位する、ある日突然判る様にはなかつた。英語の実力が判るのではなく、心臓が強く上手になるのです。僕はアメリカ人と釣りに行く事で英語に上達しました。
<谷村>単身赴任ですか。
<植田>最初の四ヶ月間だけでした。後は自分で家をさがし、不動産契約もして家族を呼びました。子供は小学校二年で日本人学校でなく現地小学校に入りました。当初ははいじめられ、大変でしたが三月もすると喧嘩できる様になりました。家に帰つて泣くのは良いが外では泣くなと厳しく教えました。後にアメリカのジンバブエに赴任した時も、現地の黒人の学校に入りました。語学というのは学問じゃないと思います。向こうの人よりも僕の方が文法を良く知っています。アメリカにいて非常に違和感を感じました。日本人の旅行者が変な事をするというのを聞かす。我々が日本人代表としてか人と友達になり、ファーストネームで呼びあう様にもなつて、や



指揮をする谷村二等海佐

はり日本人とアメリカ人という対比があり、違和感を感じるのです。それで僕は小説を書きました。今も書いています。
<川嶋>どこかで賞を貰ったね。
<植田>アメリカにいた時書いた黒人の結婚の話「グレイター」が一九八〇年に小説新潮の新人賞を貰いました。この一年間は休職して、来年からはこれ一本で行こうと思つています。
<司会>それは川嶋君、
<川嶋>僕はある会社で二十代で京都の所長になり、その後狂つて色々問題があり、黒沼衛並に緑化をやれと言われ、捨てるもつたのです。今、私は芝茂園にいるのですが、その点では駒場が思い出深いというか、駒場があつて人生が引きかたつた(衆記)
◆座談会を終わって
二時間にもわたる座談会の結果を二ページにわたる事はとても難しい。出席者の語つてくれた話は貴重な駒場の歴史である。一言一句記録したいが、残念ながら紙面に限りがある。そんな思いをしながら、五回にわたつた(衆記)

長岡純子 ピアノリサイタル

10月11日(日) 駒場エミナースホールにて16時より開演のリサイタルは、司会とインタビュアーに、藤井チズ子氏、駒3を迎えることになりました。デロワールは、昭和30年、お茶の水女大卒業。元NHKアナウンサー、チーフディレクター、お母さんの勉強室、等制作。現在はフリーとして、NHKの教育、教養番組制作担当。共立女大非常勤講師。長岡氏の恩師、讃井先生のお話(5面)もどうぞご覧下さい。

尚、チケットは多少残っておりますので、お申し込みはお早目に事務局までお願いいたします。

◆平成四年度 教職員異動◆

退職 世界史 西森貞代先生
生物 中平長治先生
日本史 新巻誠二先生
小倉川高校へ
保体 柳久美子先生
小山台高校へ
英語 谷谷雄先生
両国高校へ
大貫道夫主任
鳥山工業高校へ
山本雄雄主事
蒲田高校へ
加藤興二事務室長
都総務局総務部へ

転入 世界史 高橋賢吉先生
北多摩高校より
日本史 市川絹代先生
足立高校より

学年幹事選任のお願い

第三は幹事様が核になって下さるのに比べ、駒場の方は各回各様です。きめ細かなネットワーク作りのため、各卒業回より2名の幹事選任に御協力下さいませ。

○活動内容
1 同窓会活動などへ賛否の表示
2 学年内の意見を反映する窓口
3 学年内の住所変更等のフォロー
4 その他、学年内の連絡等
○選任 趣旨に御賛同、御協力願える方、同期の中で適当な方、お引受けいただけそうな方を、同封の名簿用の兼書でお知らせ下さい。

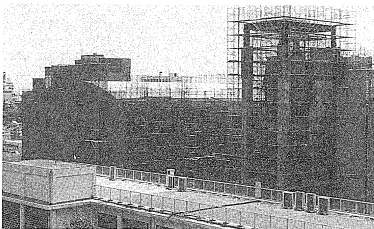
会員名簿刊行について

原稿用兼書返送のお願い
前号でお知らせしました、今秋刊行予定の会員名簿の、掲載内容確認用の兼書が、今回の会報に同封されております。より正確なものとするため、お手数ですが、会報送付の封筒のシールに誤りがないか御確認と共に、御勤務先等御記入の上、折り返し御投函下さい。名簿原稿のメ切りは9月10日です。尚、予約申し込み受付中ですので、御希望の方は併せてお知らせ下さい。

(一部500円、送料500円)

新校舎工事急ピツチ

駒場東大前駅から、雄大な姿が眺められる新校舎は、着々と工事が進み、一きわ自立つようになり、ました。卒業式は新体育館でとの見通しもたち、在校生の期待も高まりつつあります。最近の様子を山内氏(駒15)が撮影しました。



御計報

保体 朝倉知子先生
第二商業高校より
保体 栗田和彦先生
武蔵村山高校より
英語 木村嘉秀先生
羽村高校より
清水和彦主事
豊島高校より
榎本恭子主事
久保山盲学校より
大久保文夫事務室長
都立大事務局総務課より

秋山幸一先生 昭和55年
周郷隆先生 昭和55年2月28日
倉沢剛先生 昭和61年
金井ヤス先生 昭和61年6月13日
玉井要先生 平成2年夏
佐藤七三夫先生 平成3年12月3日
黒田徹先生 平成4年4月5日
池田浩也先生 平成4年5月6日
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○駒場幼稚園

募集は、三年・二年保育。集団生徒の基礎を培い、思考と行動の自主性の育成を目標とする。お問い合わせは、電話(03)3383-0150
○駒15同期会のお知らせ
9月19日(日)2時より、駒場エミナスにて駒15回(昭和38年)卒業生の同期会を開催します。今回は、保体科・芸術科も合同となります。新校舎を思い出しの学園祭ものぞきながらお出かけ下さい。名簿作成中、岩本(2H)0333-6630(三)まで、御連絡下さい。

92年 板 示

この6月で4年目を迎え、17日(日)ロンドン公演を皮切りとして、ドイツ、オランダ等、ヨーロッパ各地で演奏会を行った。お問い合わせは0333-6630
東京公演 上野音楽堂 7時
9・30(祝)、10・30(座)
横浜公演 山手グレート座 2時
30分 9・26(山)、10・24(出)
○森藤子氏(34中)工芸家 個展
10・29(日)11・5(銀座・和光ホール)

おたより 振込用紙通信欄から

前号の特集は、多くの反響をいただき、編集委員会一同厚く御礼を申し上げます。その他も加え、一部を御紹介させていただきます。
☆特集、嬉しく拝見しました。時地区分②に属し、激動の時期に感慨もひとしおでした。(鈴木恭子様、駒3)も
☆大学・大学院と複数の同窓会に属しておりますが、松桜会からのお便りや企画が、一番心ひかれます。(沢井佳子様、駒29)も
☆明大卒業後、地方ののんびりとした生活に憧れ、仙台で就職しましたが、高校時代の思い出が一番鮮やかに残っています。楠田賢治様、駒38)も
☆近況をお知らせ下さったり、資料提供のお申し出、情報のお問い合わせと、中広く活用していただくことが多くなりました。交流方法として定着し、更に大きな会員相互の輪へと拡がりますように、期待いたしております。

▽編集後記 △

90周年記念祝賀会に際しましては、多くの御協力どうも有難うございました。ご遠方その他のご事情によりご出席いただけませんでした方々に、その模様をお伝えできたらと紙面を割きましたが、如何でございますでしょうか。心機一転新たな企画を目指します。ご意見等お寄せ下さいませ。よろしくお祈りいたします。(平山記)